

えがお す
みんなの笑顔が好き

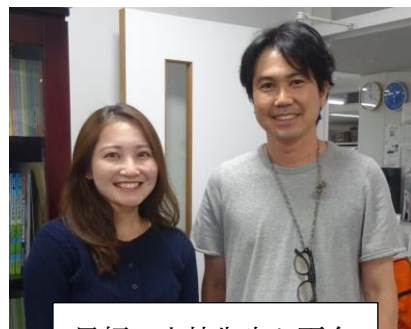
2025/ 5 /30

No.43

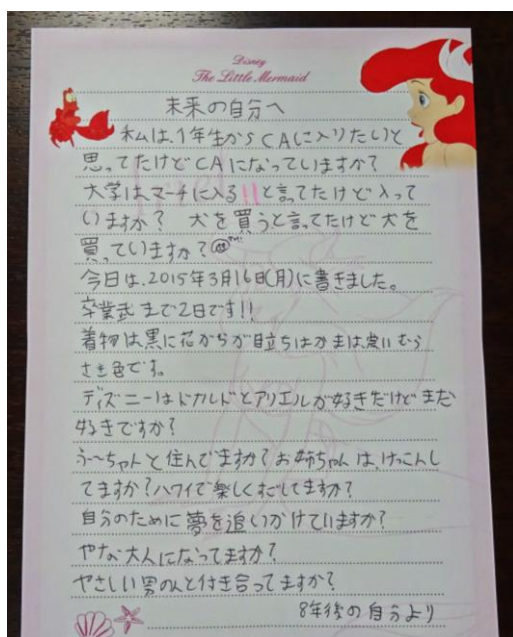
岩渕和信

こんかい そつぎょうせい くまがい みり しょうなんがくえんようしょうちゅうこうこう
今回の卒業生は、熊谷実莉さん（湘南学園幼小中高校
そつぎょう
卒業）です。

実莉さんは、6年生のとき、卒業前に「未来の自分へ」とい
う自分あての手紙を書きました。そこには、「私は1年生か
らCAに入りたいと思ってたけど、CAになっていますか？」
と書いてあります。（CA：飛行機ひこうきの客室乗務員きやくしつじょうむいん）



恩師の小林先生と再会



あれから10年。なんと実莉さんはCAになったの
です！この夏から研修が始まるそうです。

——どうしてCAになりたいと思ったんですか？

「幼稚園ようちえんを卒園したあとの春休みに家族旅行で飛行
機そつえんに乗ったんです。そのときお話ししたCAさんが、
輝はるやすいて見えたんです」

——輝いてた？

「はい。旅行でワクワクしていたのに、CAさんがお
話ししてくれて、それをよりいっそうワクワクさせて
くれたんです」

——それで自分もそういう存在そんざいになりたい、と？

「わたしは、まわりの人が笑顔になってるのが好きでした。小学校ではよく3、4人で「先生、
うたつく 歌作きったんですよ、聞いて下さい、とか言って教室で歌ったり踊ったりしてました」

——歌を作る？

「はい、エアギターとかエアピアノで、♪きょうは～きもちいいあさ～♪どこにでかけよう
かな～♪あ～あ～いいことがあるきがする～♪どこいこうかな～♪なにしようかな～・・・
みたいな感じです。それで、みんなが笑顔になってる。それがいいんです」

——小学校時代しょうだを見てみたい！

「小学校はほんと、楽しかったですよ。授業じゅぎょうもただの授業じゃなくて、算数で映画作っ
たり、外からいろんなゲストティーチャーが来たり、委員会も先生が口出しくちだしないで自分たち
で考えてやってました。それは、中学校ちゅうがっこうでも続いていて・・・」

はなし
話はなしが付きない実莉さんでした。